

## 「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討状況について

令和5年10月17日  
健康福祉局医療機能強化推進課

### 1 要旨・目的

全国トップレベルの高度医療を提供する機能や、医療人材を育成・派遣する機能を持つ「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた検討を進めており、令和4年11月に策定した「高度医療・人材育成拠点基本構想」に基づき、再編対象病院等と連携し、新病院の具体的な医療機能や施設整備等の検討結果をとりまとめた「高度医療・人材育成拠点基本計画」について、報告する。

また、医療機関再編による影響が予想される地域の意見聴取のため開催した地域懇話会での議論等を踏まえて、「県立広島病院の跡地活用の方向性」について、併せて報告する。

### 2 現状・背景

本県においては、医師や診療科の偏在、高度医療機器の分散、都市部における医療機能の重複などに課題がある。とりわけ、高度な医療資源が集中する広島都市圏において、医療資源を集約化することにより、県内全域を対象に高い水準の医療を提供するとともに、中山間地域の地域医療を維持する必要がある。

### 3 概要

#### (1) 対象者

県民、医療関係者等

#### (2) 実施内容

令和4年11月に新病院に必要な主な医療機能や広島都市圏の医療機関の再編等について、関係病院等で構成する広島都市圏病院長会議及び拠点ビジョン推進会議において、基本構想として合意が得られた。

この基本構想に基づき、新病院を一体となって構築する関係病院において、新病院に整備する医療機能や施設計画等に関する基本計画策定会議を開催するとともに、医療人材の確保や育成、中山間地域への医師の循環方策など重点分野については、大学病院等と連携した検討部会を個別に設置して検討を進めてきたところであり、その検討結果を新病院の運営形態や整備に必要な概算事業費、財務計画等と合わせて基本計画としてとりまとめた。

また、医療機関再編による影響が予想される地域に対しては、住民や医療関係者、再編病院等で構成する地域懇話会を開催し、懇話会での意見や住民アンケート調査の結果を踏まえ、県立広島病院の跡地活用の方向性について整理した。

#### ア 各検討部会の議題及び主な意見等について（8月2日～8月18日開催）

区分	内容
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医師循環の仕組みについて</li> <li>○医療人材の確保策について</li> <li>○医療情報システム（DX）について</li> </ul>

主な意見	○専従指導医について、教育と臨床のバランスが非常に重要であり、臨床で患者を診ることが、安定した教育につながる。指導医がしっかりとスキルアップできる環境を整備することが重要であり、指導者講習会以降も、継続的な教育機会を提供するべきではないか。
医療人材確保	
地域医療体制確保	
医療情報システム	
	○地域のネットワーク化は非常に時間がかかることから、基本計画に基づき、既に構築されている地域のブラッシュアップを進めつつ、構築できていない地域に対して働きかけをしていく必要がある。
	○地域の中核病院と連携したデータ活用を行い、診療に生かすだけでなく、予防医療も見据えた計画として検討していく必要がある。

イ 第6回拠点ビジョン推進会議及び第8回基本計画策定会議（9月1日～9月6日開催）の議題及び主な意見等について

区分	主な意見
主な議題	（高度医療・人材育成拠点基本計画を説明し、意見聴取）
主な意見	○2030年開院予定だが、円滑に新病院がスタートできるように、再編対象の各病院の運営を円滑かつ確実に進めていく必要がある。地域の医師会や関係機関とも協力していく必要がある。 ○新病院で整備する医療機能により、他の医療機関の今後の投資も変わってくることから、詳細は出来るだけ早く公表していただきたい。 ○県立広島病院が移転する南区や移転先となる東区の地区医師会と、これからもしっかりと協議しながら進めていただきたい。
機能分化連携・再編	
人材確保	
その他	
	○小児循環器科や小児救命救急センターを整備するのであれば、既存病院からスタッフを集めるだけでは運営は難しいのではないかと。県外から多くの人材を積極的に集めるなど、運営面でしっかりとした検討が必要である。 ○患者に対して、心のケアが可能な体制の整備に力を入れていただきたい。 ○医療的ケアが必要な患者や人工呼吸器を付けている患者が増えており、断らない救急を掲げる新病院においては、どのような障害があっても、救急を断らずに受け入れるよう、体制整備をお願いする。

※第6回拠点ビジョン推進会議については、第5回広島都市圏病院長会議と同時開催。

ウ 県立広島病院跡地活用の方向性について

地域懇話会における意見や住民アンケートの結果等を踏まえ、県立広島病院の跡地活用の方向性を次のとおり定め、今後、実現に向けた検討を進める。

<安心な暮らし>

○対象地周辺において引き続き地域の方が安心して暮らし続けることができるよう、地域の医療機関との連携や高齢者等のアクセスを考慮した上で、必要な「医療」「介護」「福祉」サービスを受けることができる体制を整える。

○大規模災害に備えるため、防災体制の充実強化を検討する。

<活気あふれるまちづくり>

○多様な世代が、いきいきと暮らし続けることができるよう、「賑わい」、「健康づくり」、「子育て」等の機能整備を検討する。

